

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		小学部		学 年		6年	
教科等名		日常生活の指導		グループ名		1組	
ねらい		・身近面での活動について、自分で丁寧にできることを増やし、主体的に取り組もうとする。 ・絵カードや写真、言葉掛けなどの手がかりや支援を受けて、活動を理解することができる。 ・教員や友達との適切な関わり方を知り、関わりを楽しみながら生活することができる。					
担当教員		田幸 拓望					
年間授業時数		342.3					
使用教科書							
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)		指導の工夫	
4 5 6 7	・自分でできることを増やそう。 ・係活動に取り組もう。	○	・登下校:バス内や廊下で、落ち着いて待つことができる。教員や友達と一緒に、列を意識して歩いて移動する。 ・靴の脱ぎ履き:下駄箱の位置を覚え、立位で脱ぎ履きする。 ・荷物整理:荷物を所定の場所に出す。かばんにしまう。 係活動:毎日決まった時間に、ごみ捨て、リサイクル、牛乳パック開きに取り組む。 ・着替え:自発的に服の着脱をする。下着だけにしない手順で着替える。服の前後に気を付けて着替える。下着をズボンに入れる。ハンカチをポケットに入れる。 ・排せつ:教員の促しを受けて定時排せつを行う。下着やズボンの上げ下げをする。 ・朝の会:姿勢を正して礼をし、挨拶する。呼名に応える。日付、予定、給食を発表し、知る。	・廊下の端を歩くことを意識し、教員と並んで歩くことができる。 ・下駄箱の位置を覚え、教員の支援を受けながら靴の取り出し、片付けをすることができる。 ・荷物整理や身支度の流れが分かり、準備や片付けに自分から取り組もうとする。 ・支援を受けながら、着替えに取り組む、自分でできる動きを増やす。 ・定時排せつをする。トイレに行きたい気持ちを言葉や身振りで伝えることができる。 ・一口量を口に運び、食事をする。 ・教員と一緒に台布巾を濡らして絞る。 ・言葉掛けを受け、決まった時間に教員と係活動に取り組むことができる。		・児童の視線や動線を考慮して教室内の物を配置し、集中しやすい環境を作る。 ・荷物の場所が分かりやすいようにイラストなどを提示する。 ・絵カードや文字で、スケジュールを視覚的に示す。 ・移動時のルールやマナーを伝え、繰り返し取り組み。習慣となるようにする。	
9 10 11 12	・一人でやってみよう。 ・友達と一緒にやってみよう。		・手洗い:泡石けんを付け、手をこすり合わせて洗う。タオルやハンカチで手を拭く。 ・給食:食具の持ち方や食べる姿勢を意識して食べる。適切な一口量を口に運び、よく噛んで食べる。 ・掃除:机を運ぶ。机拭き、雑巾がけをする。 ・帰りの会:一日を振り返り、頑張ったことを発表する。明日の予定を知る。	・自分で靴を出し入れし、履き替えることができる。 ・水筒を縦にしてかばんに入れる。 ・教員の支援を受け入れ、脱いだ衣類をたたむことができる。 ・石鹸をつけて、手をこすり洗いし、ハンカチで拭くことができる。 ・スケジュールカードを見たり話を聞いたりして、次の活動が分かり、活動に向かうことができる。 ・言葉掛けを受けて、机を運んだり、台拭きで机を拭いたりすることができる。		・児童に合った食具を用意し、必要に応じてそしゃくしやすい大きさに食べ物を刻む。 ・様々な食材に親しめるように、名前、食感、味などを伝え、自分で確認できるようにする。	
1 2 3	・中学部に向けて。 ・一人でできる力を伸ばそう。			・脱いだ靴をそろえて下駄箱にしまうことができる。 ・持ち帰りの荷物をかばんに整理して入れる。 ・食具や皿の持ち方を意識して食べることができる。 ・排せつ後に、言葉掛けを受けて身だしなみを整えることができる。 ・教員や友達と協力して大きな机を運ぶことができる。 ・自分から机運びや机拭きに取り組もうとする。 ・教室から出るときは何処に行くかを教員に伝える。		・荷物整理、着替え、排せつ、掃除は、手順のモデルを示し、繰り返し取り組む。 ・係活動は、児童の実態に合った活動を設定し、意欲的に取り組めるよう、カードや手だてを準備する。	

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		小学部		学 年		6年	
教科等名		日常生活の指導		グループ名		2組	
ねらい		・着替えや荷物整理、食事、排せつなどの身の周りのことに関して、基本的な知識と技能を身に付け、確実にできることを増やす。 ・場面に合った行動を自分で考えたり、質問したりする。 ・集団生活のルールを知り、それを守って行動しようとする態度を養う。					
担当教員		南出 裕香					
予定授業時数		342.3					
使用教科書							
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫		
4 5 6 7	一人でできることを増やそう		・登下校:スクールバス・寮から教室まで、安全に移動する。自分から挨拶をする。 ・荷物整理:自分の持ち物をきちんと管理する。 ・係活動:毎日、係活動に取り組む。「終わりました」など報告をする。 ・着替え:脱いだ服をたたむ。身だしなみを整える。気温に合わせ、自分で考えて衣服の調節をする。 ・排せつ:トイレに行きたいことを伝えてから行く。 ・朝の会:日にち、曜日、天気を確認する。名前を呼ばれたら手を挙げて返事をする。スケジュールを確認して1日の流れを知る。 ・手洗い:石けんを使って手全体を洗う。濡れた手をタオルやハンカチで拭く。口をゆすぐ。うがいをする。マスクを鼻まであげて着用する。 ・給食:食物を適切に口に取込み、そしゃくする。正しい食事の姿勢や食具の使い方を学ぶ。お盆や食器を片付ける。 ・掃除:机や椅子を運ぶ。丁寧に雑巾をかける。目に見える大きなごみだけでなく、教室の端まで目を配り丁寧にほうきをかける。 ・帰りの会:今日のことを振り返り、感想を発表する。明日の予定を確認する。	・廊下や道の端を歩いて移動することができる。 ・荷物整理や身支度の流れが分かり、自分で準備や片付けを行おうとする。 ・衣服を丁寧にたたみ、かごや袋の中にきれいに入れることができる。トイレや更衣室などでシャツをズボンに入れる、髪型を整えるなど身だしなみに気を付けようとする。 ・朝の会や予定カードなどで、一日の流れがおよそ分かる。分からないことを教員に質問ができる。 ・食具を正しく使い、ゆっくり食事する。	・持ち物の管理がしやすい教室環境を整える。 ・絵カードや文字、時計カードで、スケジュールや授業の時間を視覚的に示す。		
9 10 11 12	集団生活のルールを知り、守って行動しよう			・校内のルールや交通ルールを知り、守って移動しようとする。 ・リュックやランドセルに丁寧に物をしまうことができる。 ・荷物整理や身支度の流れが分かり、自分で準備や片付けを行う。 ・衣服を丁寧にたたみ、かごや袋の中にきれいに入れることができる。トイレや更衣室などでシャツをズボンに入れる、髪型を整えるなど身だしなみに気を付けようとする。 ・朝の会や予定カードなどで、一日の流れがおよそ分かる。分からないことを教員に質問ができる。 ・食具を正しく使い、ゆっくり食事する。	・指示は少しずつ減らし、自分で考えて行動する場面を増やすようにする。 ・移動時のルールやマナーを分かりやすく伝え、習慣が付くようにする。 ・食具の使い方は正しくもって食べる時間を設定し、継続的に取り組む。 ・着替えや荷物整理は、習慣化するようにスモールステップで行う。		
1 2 3	中学部に向けて、自分でできることを確実にやろう			・一人通学に向けて交通ルールを知り、守って行動しようとする。 ・リュックやランドセルに丁寧に物をしまうことができる。 ・荷物整理や身支度の流れが分かり、自分で準備や片付けを行う。 ・衣服を丁寧にたたみ、かごや袋の中にきれいに入れることができる。トイレや更衣室などでシャツをズボンに入れる、髪型を整えるなど身だしなみに気を付けようとする。 ・朝の会や予定カードなどで、一日の流れがおよそ分かる。分からないことを教員に質問ができる。 ・食具を正しく使い、ゆっくり食事する。	・係活動は、児童の実態に応じたものを複数設定する。児童が自分で取り組めるよう、見守り、言葉掛けをする。		

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		小学部		学 年	6年
教科等名		日常生活の指導		グループ名	3組
ねらい		・着替えや荷物整理、食事、排せつなどの、身の回りのことを行う技術を向上させることができる。 ・身だしなみやマナーを意識して生活することができる。 ・集団生活のルールを覚え、指示に応じる力や、ルールを守る力、友達と協力する力を高める。 ・係の仕事などを通し、集団の中での自分の役割に責任をもって取り組む力を高める。			
担当教員		南澤 知美			
予定授業時数		342.3			
使用教科書					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5 6 7	自分でできることを増やそう		・登下校:挨拶をする。スクールバスと教室の往復を、教員や友達と一緒に移動する。 ・靴の脱ぎ履き:立位で脱ぎ履きを行う。下駄箱の位置を覚え、靴を片付ける。 ・荷物整理:自分の荷物を所定の場所に収める、カバンに入れる。 ・着替え:立位で行う。下着の裾をズボンの中に入れる。身だしなみに気を付けて着替える。鏡の使用を経験する。ハンカチを入れ替える。衣服をたたむ。	・廊下や道の端を歩いて、静かに移動することができる。 ・朝の支度や荷物整理などの流れが分かり、自ら取り組むことができる。 ・衣服をたたみ、かごの中に入れることができる。 ・着替え後、シャツの裾をズボンの中に入れることができる。 ・「行ってきます」と言ってから、係活動に取り組むことができる。終了時には「できました」と報告することができる。 ・朝の会で日直を担当し、適切な声の大きさで挨拶や司会をすることができる。 ・給食では、姿勢に気を付け、ゆっくり食事をするすることができる。	・前後の友達との間隔や列が離れないよう、言葉掛けをする。 ・下駄箱から離れた位置で脱ぎ履きをするように、言葉掛けをする。 ・時間内に荷物整理や身支度を終わらせるように、終了時間をタイムタイマーで提示する。 ・着替えが終わったら鏡でチェックし、身だしなみの意識を高める。
9 10 11 12	集団生活のルールを知り、ルールを守って行動しよう		・朝の会:日にち、曜日、天気を確認する。呼名に手を挙げて返事をする。予定を確認し、1日の流れを知る。司会進行をする。 ・排せつ:トイレに行くことを伝え、教室を出る。シャツをズボンの中に入れる。 ・給食:食具を使い、すくったりつまんだりして食べる。いろいろな食材の味や触感を経験する。食器の下膳。 ・歯磨き指導:手順表を見ながら歯磨きをする。	・校内のルールや交通ルールを覚え、それを守って移動しようとすることができる。 ・靴の脱ぎ履きを、限られたスペースの中で立つて行うことができる。 ・教員や友達が話している間は聞き、順番を待ってから話すことができる。 ・手洗いやうがいをこまめに行うことができる。 ・汗をかいた後、手や顔を洗ったり、着替えたりし、清潔を保つことができる。 ・雑巾をもみ洗いした後、縦絞りで水分を切ることができる。 ・学年の係仕事として、給食時の配膳の手伝いができる。	・司会は手順をカードで示し、視覚的に分かりやすくする。 ・係活動は、児童の実態に応じたものを複数設定する。 ・困った時や何かしてほしい時の伝え方を、ロールプレイで示し、パターンで覚えられるようにする。 ・食事の前に食具の持ち方を確認したり、正しい姿勢の絵カードを提示したりしておく。 ・鏡に歯磨きの手順カードを掲示し、確認しながら取り組めるようにする。 ・箸は補助具を用いて、正しく持てるよう支援する。 ・掃除の手順を絵カードで提示する。進行方向を一定にし、安全に配慮して行う。
1 2 3	中学生に向けて集中して取り組もう		・係活動:学級や学年の中の仕事(ごみ捨て・出欠確認・配膳など)をする。「行ってきます」「できました」「失礼します(しました)」などの挨拶・報告を行う習慣を身に付ける。 ・手洗い:石けんを使って手全体を洗う。濡れた手をタオルやハンカチで拭く。口をゆすぐ。うがいをする。マスクを鼻まであげて着用する。 ・掃除:机や椅子を運ぶ。丁寧に雑巾をかける。目に見える大きなごみだけでなく、教室の端まで目を配り丁寧にほうきをかける。 ・帰りの会:今日のことを振り返り、感想を発表する。明日の予定を確認する。	・防寒着の着脱では、ジッパーを扱うことができる。脱いだ防寒着をハンガーにかけることができる。 ・自分のやるべき身支度に集中して、荷物整理や着替えを行うことができる。 ・寒暖に合わせ、自分で衣類を調節できる。 ・自分の要求や困ったことを、教員に言葉やカードで伝えることができる。相手との適切な距離を覚え、意識する。 ・ほうきの正しい持ち方を覚え、一定の方向にごみを掃き集めることができる。	

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		小学部		学 年	6年
教科等名		日常生活の指導		グループ名	4組
ねらい		・着替えや荷物整理、食事、排せつなどの身の回りのことに関して、基本的な知識と技能を身に付け、確実にできることを増やす。 ・場面に合った行動を自分で考えたり、質問したりする。 ・集団生活のルールを知り、それを守って行動しようとする態度を養う。			
担当教員		楠森 誠			
予定授業時数		342.3			
使用教科書					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5 6 7	6年生としての行動をしよう 身だしなみを意識しよう	○	・登下校:スクールバスから教室まで安全に移動する。 ・靴の脱ぎ履き:立位で脱ぎ履きを行う。 ・荷物整理:持ってきたものを、所定の場所に片付ける。かごの中の整理整頓を心掛ける。風呂敷などを扱い、片付ける。 ・係活動:毎日、係活動に取り組む。「終わりました」など報告をする。 ・着替え:立位で行う。下着の裾をズボンの中に入れるなど、身だしなみに気を付ける。ハンカチを入れ替える。脱いだ服をたたんでしまう。 ・朝の会:一日の予定や給食のメニューを確認する。日直は、進行を行う。 ・帰りの会:今日の学習の振り返りをする。翌日の予定を確認する。	・歩く順番を意識して、移動することができる。友達を待ったり、前の人に続いて間を空けないで歩くことができる。 ・自分の仕事が無いかを確認し、活動ができる。 ・上下別々に着替えるなど、下着になる時間を短くする。 ・おしぼりや雑巾の縦絞りに慣れる。 ・下着の裾の始末に気付くことができる。 ・着替えの時に、ハンカチを入れ替えることができる。 ・いろいろな食材を味わうことができる。 ・休み時間にトイレに行くようにする。 ・ほうきの正しい使い方を身に付ける。 ・1週間や1月のスケジュールを理解する。 ・今日頑張ること、楽しみなこと、頑張ったこと、楽しかったことを発表できる。 ・クラスの友達や教員の名前を覚えることができる。	・ロッカーや机の配置などに配慮し、持ち物の管理がしやすい、全体指示が入りやすい教室環境を整える。 ・絵カードや写真カード、文字などでスケジュールを視覚的に示す。 ・「質問タイム」を設定し、話を聞く時間、質問をする時間を分かりやすく示す。 ・一人通学に向け、見守りの中で、一人で移動できる距離を徐々に伸ばしていく。
9 10 11 12	身だしなみを整えよう ルールやマナーを意識して行動しよう	○	・排せつ:トイレに行くことを伝えてから、教室を出る。ズボンの前側だけおろして排尿する。 ・給食:衛生面に気を付けて配膳をする。皿の扱いに気を付けて下膳を行う。食事時の姿勢やマナーを意識しながら食べる。 ・鏡を見ながら丁寧に歯磨きをする。	・自分から係活動に取り組むことができる。 ・日直は、朝の会や帰りの会の司会を進行できる。 ・下着の裾の始末など、着替えの時やトイレの時や運動時、自分から正すことができる。 ・ほうきを使い、友達と協力してごみを集めることができる。	・移動時のルールやマナーを視覚的に分かりやすく伝え、行動が習慣化できるようにする。 ・児童に合った食具を用意する。マナーを意識した正しい扱い方、で食べるように指導する。
1 2 3	中学部に向けて、自分からできることを増やそう	○	・掃除:机や椅子を持ち上げて運ぶ。ほうきを正しく使用する。雑巾をしっかりと絞り、床の雑巾かけをする。 ・手洗い・うがい:泡石けんを使って手を洗う。濡れた手をハンカチで拭く。指の間の手洗いを意識する。 ・屋外活動後や食後に、コップの水で口内をすすぐ。	・自分から係活動に取り組むことができる。気が付いた仕事に取り組む。 ・カレンダーを見て、見通しをもって活動に取り組むことができる。 ・寒暖に自分で気付き、衣服を調節できる。 ・身だしなみやプライベートゾーンを大事にする。 ・苦手なことや嫌なことを、言葉で友達や教員に優しく伝えることができる。 ・毎日、自分の使った教室を掃除する。	・着替えや食事、排せつなどの身の回りのことに関して、自分のできる部分を少しずつ増やしていく。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。